

各位

東京都千代田区外神田一丁目18番13号
株式会社エスプール
代表取締役会長兼社長 浦上 壮平
(コード番号：2471)

問い合わせ先：
取締役管理本部担当 佐藤 英朗
電話番号 03 (6859) 5599 (代表)

2018年11月期第2四半期(累計)業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、最近の業績の動向等を踏まえ、本年1月11日に公表いたしました2018年11月期第2四半期累計期間(2017年12月1日～2018年5月31日)の連結業績予想を、以下のとおり修正することとしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2018年11月期第2四半期(累計)連結業績予想値の修正(2017年12月1日～2018年5月31日)

(単位:百万円/未満切捨)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	6,431	302	296	162	10円28銭
今回修正予想 (B)	6,791	352	356	218	13円82銭
増減額 (B - A)	360	49	59	55	—
増減率 (%)	5.6	16.3	20.2	34.4	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (2017年11月期第2四半期)	5,329	262	265	173	11円42銭

(注)当社は、2018年3月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

2. 修正の理由

売上高につきましては、人材ソリューション事業において、企業の人材不足感が強まっている中、未経験者の活用に長けたグループ型派遣を強化したことにより、コールセンター業務を中心に好調に推移しました。また、ビジネスソリューション事業においては、障がい者雇用支援サービスの新規受注が計画を大きく上回っており、納品を前倒して進めることができました。

損益面につきましては、人材ソリューション事業及び障がい者雇用支援サービスの売上増にともなう利益増により、営業利益、経常利益が期初計画を上回りました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益においては、上記の要因に加え、法人税等の負担比率が想定よりも低かったことから、前回予想を上回る見込みとなりました。

3. 通期の業績予想について

当社グループの当期の業績は、主力の人材派遣サービス、障がい者雇用支援サービスが好調を維持し、当第2四半期においては計画を上回って推移しておりますが、新規事業を中心に計画に若干の遅れが生じている部門もあることから、現時点においては通期の連結業績予想を据え置いております。

以上

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があることにご留意ください。